

女性議員の比率（第26回衆議院通常選挙後）

●有権者の51.7%が女性であるにもかかわらず、衆議院議員に占める女性の割合は10.0%、参議院に占める女性割合は26.0%となっています。

1. 国会

	女性議員割合	議員数	女性議員数
衆議院	10.0%	461	46
参議院	26.0%	246	64
合計	15.6%	707	110

2. 地方議会

	女性議員割合	議員数	女性議員数
都道府県議会	11.8%	2,598	306
市区町村議会	15.4%	29,423	4,523
合計	15.1%	32,021	4,829

- (注1) 衆議院は2023年2月13日現在、参議院は2023年3月30日現在の数（衆議院及び参議院HPより）
(注2) 都道府県議会は2021年12月31日現在（総務省調べ）
(注3) 市区町村議会は2021年12月31日現在（総務省調べ）
(注4) 有権者に占める女性の割合：51.7%（令和4年7月10日執行第26回参議院議員通常選挙結果調より）
(参考) 内閣府男女共同参画局「女性活躍・男女共同参画における現状と課題」（令和5年4月11日）



首長に占める女性割合、女性ゼロ議会

1. 首長に占める女性割合

	女性割合	首長数	女性首長数
都道府県知事	4.3%	47	2
市区町村長	2.3%	1,737	40

2. 女性ゼロ議会（令和3年12月時点）

	女性ゼロ議会数	議会数	女性ゼロ議会比率
都道府県議会	0	47	0.0%
市区町村議会 （合計）	275	1,741	15.8%
市議会	24	792	3.0%
特別区議会	0	23	0.0%
町村議会	251	926	27.1%

政治分野における男女共同参画の推進に関する法律（平成30年5月23日公布・施行）

- 男女の候補者の数ができる限り均等を目指す。
- 日本の現状は、国民が男女半々であるにもかかわらず、議会の場に女性が少ない「過少代表」とも言える状況で、諸外国との格差が大きい。（衆議院女性議員比率（10.0%）は、190か国中165位）
- 議会に女性が参画することでより暮らしやすい社会へ→女性の視点や母親としての声を議会に反映させることができる。

（参考）内閣府男女共同参画局「政治分野における男女共同参画」

- （備考）1. 総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」より男女共同参画局作成。
2. 千葉県、山梨県、香川県、高知県にそれぞれ欠員1があるため、市区町村長数は1,737となる。
（参考）内閣府男女共同参画局「女性活躍・男女共同参画における現状と課題」（令和5年4月11日）

●政治分野における男女共同参画の推進が今後必要とされます。